

仮設住民 農作物育て交流

石巻 来月開始へ説明会

被災地最大の仮設住宅がある石巻市開成地区で9月下旬から、仮設住宅の住民が畑で作物を育てる「農園プロジェクト」が始まる。事業を行うNPO法

人「石巻スポーツ振興センター」は20日、初の説明会を開き、住民4人が農地の予定地を見学した。

仮設住宅で新たな人間関係を築けずに孤立する住民もいることから、市は今年度、地域コミュニティ作りを行う民間団体に対し、最大500万円を補助する取り組みを始めた。

農園プロジェクトもその一つで、開成地区の30世帯

が対象。同NPOが借りた近くの休耕地約700平方メートルを耕し、野菜を栽培しながら交流を深めたり、ストレスを解消したりしてもらう。参加費は苗や肥料代など年2000円で、この日の説明会に出席した佐藤国子さん(71)は「一緒に野菜を作り、仮設の若い人とも顔見知りになりたい」と話していた。問い合わせは同NPO(0225・96・4334)。

な人でも食べられます」。わざわざ大崎市から買いに来たという常連客の佐々木宏樹さん(32)が、店頭で教えてくれ

東



コト

局

区中央 2-3-6
ル内